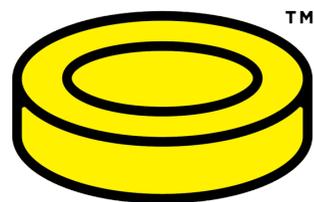


学校DX戦略コーディネータ特論（Ⅱ）

第6講 「教育のカスタマイズと個別化」



GIFU
SHOTOKU
GAKUEN
UNIV.

林 一真（岐阜聖徳学園大学）

第6講「教育のカスタマイズと個別化」

【学修到達目標】

- ① 教育のカスタマイズと個別化の重要性を説明できる。
- ② カスタマイズされた学習コンテンツや教授法の利点を説明できる。
- ③ テクノロジーを活用して教育のカスタマイズと個別化を実現する方法を具体的に説明できる。

第6講「教育のカスタマイズと個別化」

1. 教育のカスタマイズと個別化の重要性
 2. 手法① カスタマイズされた学習コンテンツ
 3. 手法② インディビデュアライズドラーニング
 4. 手法③ テクノロジーの活用
 5. 手法④ 学習アセスメントのカスタマイズ
 6. 手法⑤ フリーカレンダーカリキュラム
 7. 教師の役割の変化
 8. 社会的・情緒的学習の重視
 9. 継続的な評価とフィードバック
 10. 総括
- ★ 課題（学びの振り返り）

第6講 「教育のカスタマイズと個別化」

1. 教育のカスタマイズと個別化の重要性

【背景】

○ 従来の一斉学習

- ・ **利点**：知識・技能を効率よく伝達
- ・ **課題**：個々の支援不足，学習のモチベーション低下，少ない自己決定の場

○ 新たな教育の潮流（現行の学習指導要領）

- ・ 時代の変化に対応できる**汎用的な資質・能力**の育成
- ・ **「主体的・対話的で深い学び」**の視点からの授業改善

【教育のカスタマイズと個別化の意義】

○ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現（令和の日本型学校教育）

- ・ **学習者のニーズや能力等に応じた授業設計**
- ・ 児童生徒が**考える場（自己決定の機会）**の提供
- ・ 多様な他者との**対話を通じた考えの強化**

【具体的な方法】

① カスタマイズされた学習コンテンツ

② インディビデュアライズドラーニング

③ テクノロジーの活用

④ 学習アセスメントのカスタマイズ

⑤ フリーカレンダーカリキュラムの採用

第6講「教育のカスタマイズと個別化」

2. 手法① カスタマイズされた学習コンテンツ

【これまでの一斉学習の限界】

すべての児童生徒に**同じカリキュラムや学習コンテンツ・教材**のため、個人差がある場合、十分な学習効果が得られない



個別最適な学びの実現には、個々の児童生徒の興味関心や能力、学習進度に応じた学習コンテンツ・教材のカスタマイズが必要

【カスタマイズされた学習コンテンツのメリット：柔軟な対応】

- ・ **興味関心に基づいて学習コンテンツにアクセス**し、学びを進めることができる
(学びを深め、モチベーションを高める)
- ・ **学習ペースや理解度に応じた教材の提供とサポート**
(デジタルドリル (AI) の活用)
- ・ **学習ログ**を基にした、教師から児童生徒への**的確なサポートの実現**

第6講「教育のカスタマイズと個別化」

3. 手法② インディビデュアライズドラーニング

【インディビデュアライズドラーニング（個別最適な学び）】

児童生徒の**特性（学習スタイルやニーズ，理解度，これまでの経験等）**に応じて教授法や評価方法を**調整**し，一人ひとりに最も効果的な学びを実現



児童生徒の特性に応じた最も効果的な学習スタイル（教授法）

- ・ 視覚的な対応：図や動画
- ・ 聴覚的な対応：音声，対話が主の教材
- ・ 実践的な対応：調査，観察等のフィールドワーク

児童生徒の特性に対応する多様な評価方法

- ・ パフォーマンス評価，ポートフォリオ評価
- ・ 児童生徒の**成長や学びの過程を正確に把握**

【評価方法の利点と課題】

利点：成長や学びの過程を正確に把握

児童生徒自身が**学習の達成感を実感**しやすい

課題：時間と労力 → **デジタル技術の活用**や**教師間連携**，**保護者の理解**

第6講「教育のカスタマイズと個別化」

4. 手法③ テクノロジーの活用

テクノロジーの活用は、個別最適な学びを実現する上で**必要不可欠**

- ① **クラウドを活用したプラットフォームや学習管理システム（LMS）の利活用**
児童生徒の学習履歴や進捗状況，得意分野や苦手分野を**記録・分析** → **指導・支援**
- ② **児童生徒の興味関心に基づいた学習を可能にする利活用**
児童生徒が強い関心をもっている分野に関連する**情報や学習コンテンツに，個々のタイミングでアクセス**
- ③ **学習評価における利活用（学習の進捗状況の管理や評価作業の自動化）**
 - ・ 児童生徒の学習の進捗状況や得手・不得手を**グラフや表など視覚的に表す**
 - ・ 学年や学級全体から見た**自分の位置を示す**

★**テクノロジーの活用**・・・評価に費やしていた時間を**児童生徒の学習支援の時間へ**
その場で個々のニーズに合わせた支援

○ 必要な教員のスキル

- ・ システムを活用できるように必要な基礎的な**操作スキル**
- ・ 効果的に使いこなし，教育活動に還元できる**活用スキル**
→ 児童生徒の学習ログや学習成果物等を集約するだけでなく，
これらのデータを教師が**適切に処理し，個々の学習支援につなげる**

第6講「教育のカスタマイズと個別化」

5. 手法④ 学習アセスメントのカスタマイズ

【学習指導や支援の改善を目的とした学習アセスメントの個別化】

標準化テストや一律の評価基準・・・多様な学びや成長過程を十分に評価できず



- ・ 児童生徒一人ひとりの**能力や進捗状況を正確に把握**
- ・ 多様な**学びのスタイルや能力**，**個々の成果や成長過程を評価**

【カスタマイズの手法】

① パフォーマンス評価

- ・ 問題解決や探究活動を通して**学んだ内容や実践的なスキル**を評価
評価対象物：プレゼンテーションやポスター制作等
測定する力：協働力、創造力、問題解決能力等

② ポートフォリオ評価

- ・ 一定期間に取り組んだ課題や作品，成果物などで，**個々の成長を総合的に評価**
- ・ **振り返りの機会**を提供し，**自己認識を深める**

【カスタマイズの効果】

- ・ **個々の特性と努力の尊重**
- ・ **包括的で正確な評価の実現**
- ・ 児童生徒の**自信と意欲向上**

第6講「教育のカスタマイズと個別化」

6. 手法⑤ フリーカレンダーカリキュラム

【フリーカレンダーカリキュラム】

児童生徒が自分の目標や学習スケジュール、興味関心に合わせて柔軟に学ぶ内容や活動を組み立てることができる教育モデルやアプローチ

【利点】

- **柔軟な学びの設計**
 - ・ 自分の**目標や興味関心に合わせて、学習内容や活動を組み立てる**
 - ・ **自律性や自己管理能力**（将来のキャリアや日常生活でも役立つスキル）を養う
- **特定分野に集中可能**
 - ・ 興味のある分野に**多くの時間**を割ける → **充実感**

【テクノロジーの活用】

- ・ クラウドを活用したプラットフォームや学習管理システム（LMS）で**学習計画を管理**
- ・ 教師が児童生徒の**進捗状況を把握しやすく、必要に応じて支援**

【課題】

- ・ **低学年や自己管理が苦手な児童生徒へのサポート**が必須
- ・ **学校全体での連携や保護者の理解**が不可欠

第6講 「教育のカスタマイズと個別化」

7. 教師の役割の変化

教育のカスタマイズと個別化（個別最適な学び）

【指導観の転換がマスト】

○ 役割の変化

- ・ 従来の役割: 知識の**伝達者**（Teacher: 講師）
- ・ 新たな役割: **支援者**（Guide, Coach, Mentor, Facilitator, Generator）

○ 柔軟で具体的なアプローチ

- ・ 教師と児童生徒との**対話を通じた課題解決の提案**
- ・ 目標達成に向けた**具体的なアドバイス**
- ・ **指導法に合わせ、評価方法も工夫**
- ・ 児童生徒が課題や障壁を**自力で乗り越えるためのサポート**



学習効率とモチベーションの向上, 深い学びの実現

【留意点】

○ 教師と児童生徒との関係の重要性

- ・ **対話**が必須
協働して学ぶ関係を構築し, 児童生徒が**自らの学びに責任**をもつ
- ・ **児童生徒とともに成長**
新たな教育方法を追求（教師のアップデート）

第6講「教育のカスタマイズと個別化」

8. 社会的・情緒的学習の重視

教育のカスタマイズと個別化（個別最適な学び）

- 社会性の基盤を確立
 - ・ 他者と協力し、自己実現に向けて行動できる力を育成
 - ・ 豊かな人生を送るための土台を築く
- 社会的・情緒的学習（Social and Emotional Learning）を促す
 - ① 内面的な成長を促進
 - ・ 感情のコントロール、意思決定力の向上
 - ・ 困難に対処し、学びに前向きに取り組む力
 - ② 他者との関係の構築
 - ・ コミュニケーション能力や協働する力を育成

【具体的なアプローチ】

- 教師の役割
児童生徒の感情に寄り添い、信頼関係を構築
- テクノロジーの活用
感情の状態をモニタリングし、個別のサポートができる仕組み

第6講「教育のカスタマイズと個別化」

9. 継続的な評価とフィードバック

教育のカスタマイズと個別化（個別最適な学び）

- 学習の個別最適化と成長の促進
 - ・ 個々の進捗状況やニーズを**継続的に把握**，**評価**
 - ・ **適切な学習の調整**によって児童生徒一人ひとりの**学習を最適化**，**成長を促進**
- 継続的な評価の重要性
 - ① **学習状況の詳細な把握**
 - ・ **学びの進度や理解度**，**得意・苦手分野に対応**するための**定期的な評価**
 - ・ **個々の状況**に応じた支援の実施
 - ② **適切なフィードバックによる学習促進**
 - ・ **個々の児童生徒に応じたアプローチ**で学習効率を向上
 - ・ **振り返りを行う機会**を与え，**自分の強み・課題**を把握
- テクノロジーの活用
 - ・ **学習管理システム（LMS）やAIを活用した評価ツール**を使用
学習データを**リアルタイムで収集・分析**
個別に最適なフィードバックをその場で提供

第6講 「教育のカスタマイズと個別化」

10. 総括

【第6講 これまでの学び】

- ・ 教育のカスタマイズと個別化の**重要性**を踏まえ、**五つの手法**を学習
- ・ **テクノロジー活用**によるカスタマイズにより、個々の学びの質が向上
- ・ 教師の役割・・・「**教える**」から「**支援**」への**指導観の転換**

【教育のカスタマイズと個別化の重要性】

- ・ 児童生徒の**可能性を最大限に引き出し**、**社会で活躍できる力**を育成
(目指すべき姿)

【今後の課題】

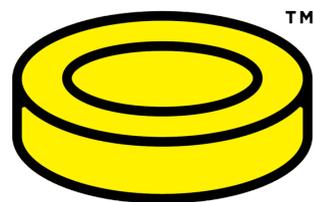
- ・ **常に児童生徒の特性やニーズに寄り添う**
- ・ 個別最適な学びの実現に向けた**教師の積極的な取り組み**

課題

- ① **教育のカスタマイズと個別化がなぜ重要なのか説明してください。その取り組みが児童生徒にどのような利益をもたらすか述べてください。**
- ② **カスタマイズされた学習コンテンツや個別化された教授法が、従来の教育方法とどのように異なるか説明してください。それらが児童生徒の学習にどのように寄与するか述べてください。**
- ③ **テクノロジーを活用して教育のカスタマイズと個別化を実現するための具体的な方法について、例を挙げて説明してください。その方法がどのようにして児童生徒の学習をサポートするか述べてください。**

学校DX戦略コーディネータ特論（Ⅱ）

第6講 「教育のカスタマイズと個別化」



GIFU
SHOTOKU
GAKUEN
UNIV.

林 一真（岐阜聖徳学園大学）